先端の創薬を通じて
人々の健康と
明日の医療に貢献する



あすか製薬株式会社
マスコットキャラクター
あすかちゃん

あすか製薬株式会社

第94期中間報告書

2013年4月1日～2013年9月30日

証券コード 4514

株主の皆様へ

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。

第94期前半（2013年4月1日から2013年9月30日まで）の事業概況をご報告するにあたり、ご挨拶申しあげます。

当社グループは、社会保障財源確保を背景とする継続的な薬剤費抑制政策の影響や来年度に控える消費税増税実施など、一段と厳しさを増す国内医薬品市場の環境に対応し、継続的に利益を創出できる企業体質を構築するために、３年間の新中期経営計画「ASKA PLAN 2015」を今年度よりスタートさせました。上記経営計画の目標である売上規模500億円、営業利益30億円（売上高営業利益率６％）の実現に向け、収益改善をテーマとして計画を着実に遂行してまいります。

当社は、「先端の創薬を通じて、人々の健康と明日の医療に貢献する」との経営理念のもと、全ての役員・社員がベクトルを合わせ、経営ビジョンである「競争力のあるスペシャリティーファーマ」を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、宜しくお願い申しあげます。

2013年11月



代表取締役社長

山口　隆

目　次

株主の皆様へ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
営業の概況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
財務ハイライト（連結）・・・・・・・・・・・・・ 3
中間連結財務諸表・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
トピックス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
主要製品・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
会社概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
株式の概況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
株式に関するお知らせ・・・・・・・・・・・・・・10

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、政府のデフレ脱却に向けた経済政策に伴う消費者マインドの改善等から個人消費が底固さを増しているほか、設備投資も増加基調にあり、景気回復への期待が高まっております。

医薬品業界におきましては、大型製品の相次ぐ特許切れによる収益低下と、財政再建を背景とした後発医薬品の使用促進等医療費抑制の動きが進んでいることなどから、引き続き厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のもと当社グループでは、本年4月よりスタートした新中期経営計画「ASKA PLAN 2015」の方針に基づき、経営と執行の分担をより明確にすることでスピーディーな経営を目指しております。また、ジェネリック事業の拡充を目的に10月より「あすかジェネリック事業本部」を新設いたしました。販売面では医薬品事業を中心に適正な医薬情報活動に努めましたが、市場における競争激化の影響を受け、売上高は200億2千6百万円（前年同期比0.6%減）となりました。

医療用医薬品分野では、高脂血症治療剤「リピディル」をはじめ、後発医薬品の前立腺癌治療剤「ビカルタミド」、高血圧症治療剤「アムロジピン」等が伸長し、緊急避妊剤「ノルレボ」も適正使用の推進により引き続き増加しましたが、長期収載品である「アルタット」、「プロスタール」等が伸び悩んだこともあり、売上高は181億3千8百万円（前年同期比0.3%減）となりました。

動物用医薬品分野では、繁殖用薬とアミノ酸等機能性飼料の組み合わせによる相乗効果の発揮に努めましたが、売上高は17億7千4百万円（前年同期比2.7%減）となりました。

そのほか、検査、医療機器、食品等の売上高は1億1千2百万円（前年同期比11.1%減）となりました。

利益面では、販売費及び一般管理費の削減および下期へのずれ込み等により、営業利益7億1千万円（前年同期比11.4%増）、経常利益8億4千1百万円（前年同期比8.9%増）とそれぞれ増益となりました。一方、中間純利益につきましては、前年同期に震災関連の復旧整備補助金を特別利益に計上したことの反動等もあり、5億2千2百万円（前年同期比29.5%減）と減益となりました。

研究開発面におきましては、当社がAlfa Wassermann S.p.A.（本社：イタリア）と日本におけるサブライセンス付独占的開発権、販売権および製造権を取得したL－105（肝性脳症治療剤：リファキシミン）は、現在フェーズⅡ／Ⅲ試験およびフェーズⅢ試験を実施中であります。また、本剤は希少疾病用医薬品（オーファンドラッグ）に指定されました。

当社が創製しアステラス製薬株式会社と全世界での開発、製造および販売に関する独占的なライセンス契約を締結したAKP－002（排尿障害治療剤）は、フェーズⅡ試験を実施中であります。

当中間連結会計期間における設備投資額は13億4千1百万円で、その主なものはいわき工場新品質管理棟など生産設備であり、全額自己資金で賄っております。

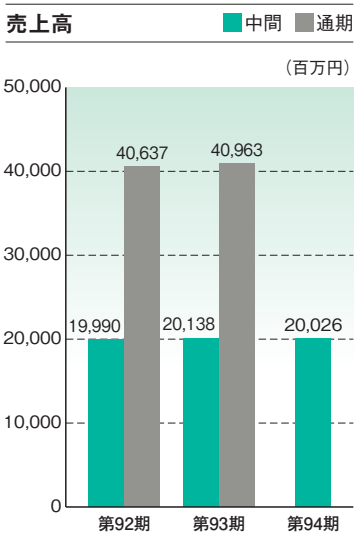
今後の医薬品業界は、引き続き厳しい環境が予測されます。

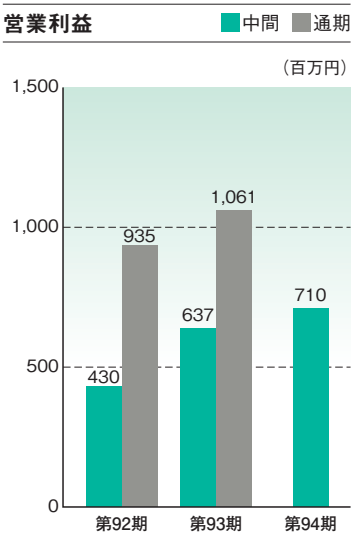
当社は企業価値の最大化を図るため、今後も改革を緩めず効率的経営に努めてまいります。

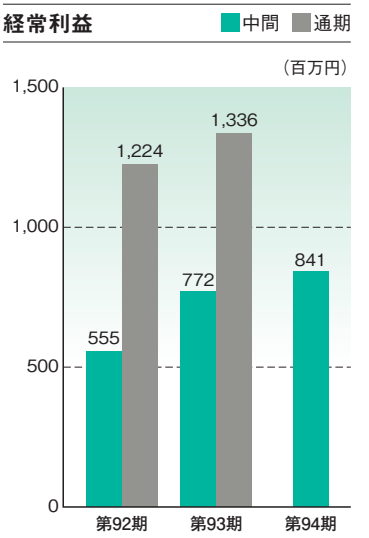
また、株主様はもとより、広くステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを図り、企業情報を積極的かつ公正に開示するようIR活動を推進してまいる所存であります。

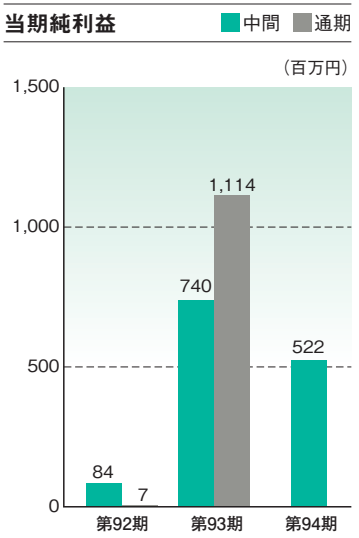
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

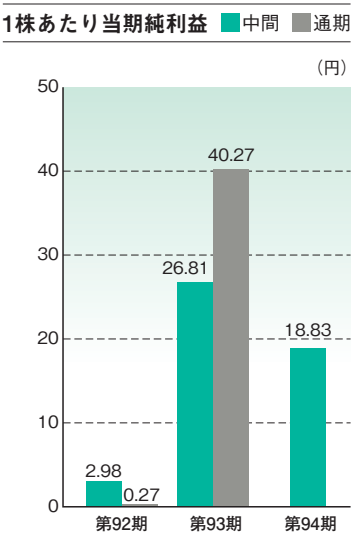
財務ハイライト（連結）

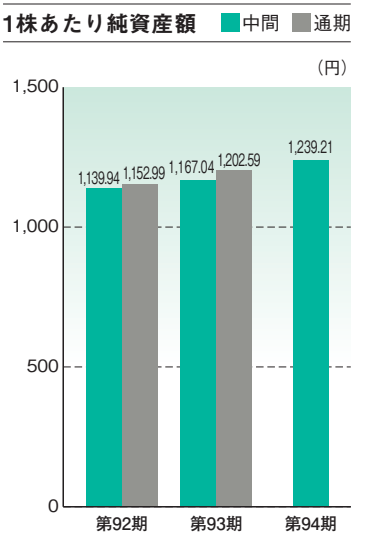












（注）当中間期末の自己資本比率は65.6%です。

中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科目	前年度末 2013年3月31日現在	当中間期末 2013年9月30日現在
資産の部		
流動資産	**27,233**	**27,273**
現金及び預金	3,983	4,170
受取手形及び売掛金	9,278	8,057
有価証券	2,694	2,852
その他	11,276	12,191
固定資産	**24,504**	**25,227**
有形固定資産	**11,889**	**12,562**
無形固定資産	**1,373**	**954**
投資その他の資産	**11,241**	**11,710**
投資有価証券	6,130	7,237
その他	5,110	4,472
繰延資産	**32**	**24**
資産合計	**51,770**	**52,525**
負債の部		
流動負債	**9,908**	**10,621**
固定負債	**8,512**	**7,466**
負債合計	**18,420**	**18,088**
純資産の部		
株主資本	**32,517**	**32,867**
資本金	1,197	1,197
資本剰余金	845	845
利益剰余金	33,000	33,328
自己株式	△ 2,525	△ 2,504
その他の包括利益累計額	**827**	**1,547**
その他有価証券評価差額金	827	1,547
少数株主持分	**5**	**22**
純資産合計	**33,350**	**34,436**
負債純資産合計	**51,770**	**52,525**

中間連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	前中間期 2012年4月 1日から 2012年9月30日まで	当中間期 2013年4月 1日から 2013年9月30日まで
売上高	**20,138**	**20,026**
売上原価	11,326	11,265
売上総利益	**8,811**	**8,760**
返品調整引当金繰入額	2	1
差引売上総利益	**8,809**	**8,759**
販売費及び一般管理費	8,171	8,048
営業利益	**637**	**710**
営業外収益	182	200
営業外費用	47	69
経常利益	**772**	**841**
特別利益	359	–
税金等調整前中間純利益	**1,132**	**841**
法人税等	389	302
少数株主損益調整前中間純利益	**742**	**539**
少数株主利益	2	17
中間純利益	**740**	**522**

中間連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	前中間期 2012年4月 1日から 2012年9月30日まで	当中間期 2013年4月 1日から 2013年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	**2,878**	**1,177**
投資活動によるキャッシュ・フロー	**△ 790**	**△ 966**
財務活動によるキャッシュ・フロー	**△ 184**	**△ 369**
現金及び現金同等物に係る換算差額	**0**	**0**
現金及び現金同等物の増減額	**1,904**	**△ 157**
現金及び現金同等物の期首残高	**4,068**	**6,578**
現金及び現金同等物の中間期末残高	**5,973**	**6,420**

◆ 子会社「あすかアニマルヘルス株式会社」設立

当社は、2013年6月、完全子会社「あすかアニマルヘルス株式会社」を設立いたしました。同社は、代表取締役社長に山口雅夫（当社取締役副社長）が就任し、動物用医薬品、飼料および飼料添加物などの製造、販売ならびに輸出入を事業内容とします。

これは、近年の世界的な食糧問題や貿易自由化を背景とした畜水産業界の変化、コンパニオンアニマル用製品の需要の増加等、急速な市場環境の変動に即応するため、経営の自由度を高め、経営責任を明確にし、意思決定の迅速化を図ることを目的として、当社からアニマルヘルス事業を分社化したものです。

当社は、あすかグループとして引き続き業務改善に取り組み、堅固な経営基盤を構築して次のステージに進めてまいります。

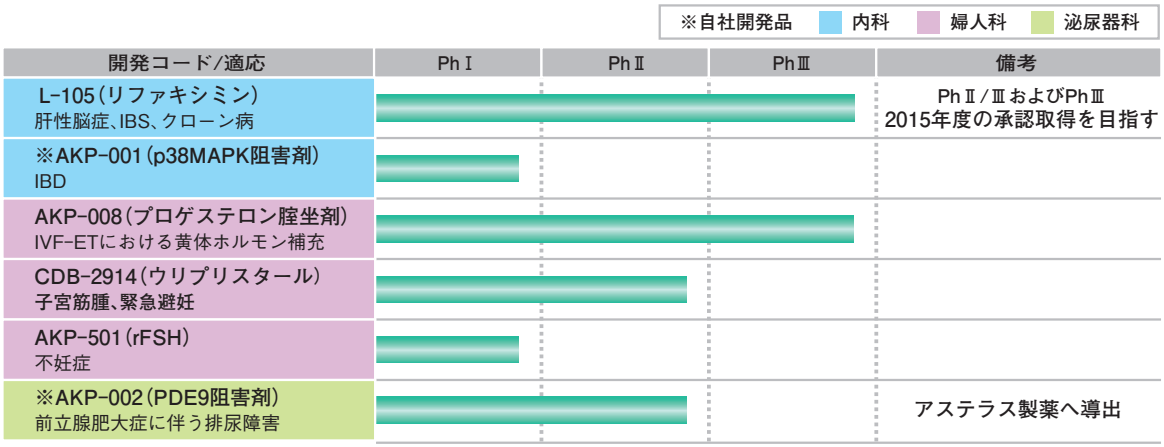
◆「あすかジェネリック事業本部」発足

当社は、2013年10月、ジェネリック事業の拡大を視野に「あすかジェネリック事業本部」を新設いたしました。（また、その下に「事業企画推進部」「流通推進部」「首都圏営業部」「関西営業部」を設置しました。）

新しい事業本部は、約70名のMR体制でスタートし、全国の特約店を中心に活動を展開していきます。

当社は今後、「医薬営業本部」と「あすかジェネリック事業本部」の相乗効果を図ることで営業力を強化し、「あすかジェネリック」の普及を加速させていきます。

◆ 研究開発の状況（2013年11月現在）



◆ 新製品発売 ～新しくラインナップに加わりました～



タキソイド系抗悪性腫瘍剤
ドセタキセル点滴静注用20㎎・80㎎「あすか」



ドパミン作動性パーキンソン病治療剤
プラミペキソール塩酸塩錠0.125㎎・0.5㎎「AA」

◆ 難吸収性抗菌薬「リファキシミン」が希少疾病用医薬品に指定される

2013年5月13日付で厚生労働省より、当社が開発中の難吸収性抗菌薬「リファキシミン」について、効能・効果に予定する「肝性脳症」に対する希少疾病用医薬品（オーファンドラッグ）の指定を受けました。

本剤は、リファマイシン系の難吸収性経口抗菌薬で、既に欧州・米国等、世界40ヶ国以上で肝性脳症、腸内細菌感染症（旅行者下痢症）、憩室炎および結腸・直腸手術時の感染予防等の適応で販売されています。また、本剤は血中への移行が極めて少なく安全性の高い薬物です。

米国においては、2010年3月に「肝性脳症患者に対する再発リスクの軽減」の適応についてFDAより追加承認され、過敏性腸症候群（IBS）の適応についても、フェーズⅢ試験を実施しています。さらに欧州において、クローン病を適応としてフェーズⅢ試験が行われています。

肝性脳症は、肝機能不全に伴い、消化管内バクテリアによって発生する毒素（主にアンモニア）を肝臓で除去できなくなることにより引き起こされ、その結果、精神神経症状（認知障害、運動障害等）や昏睡が発現します。国内における肝性脳症の患者数は21,000人～42,000人と推定されています。

◆ 障がい者の自立支援事業に協力

2013年８月26日、福島県いわき市の協力のもと、当社が依頼している印刷会社と、同市にある*就労継続支援事業所である10の事業所との間で、業務委託契約を締結しました。これは、当社のCSR活動の一環として、障がい者の方々を支援する目的で締結したもので、委託内容は、当社が印刷会社に依頼するダイレクトメールの作成業務のうち、医師･薬剤師向け甲状腺診療関連資材等の封筒封入作業です。

当社は、今後も「生命」に関わる企業としてCSR経営を追求するとともに、持続可能な社会の実現に向けて取り組んでまいります。

*就労継続支援事業所
障がい者自立支援法に基づく就労継続支援のための施設。一般企業への就職が困難な障がい者の方々に就労機会を提供し、就労を通じて、その知識と能力の向上に必要な訓練などの障がい福祉サービスを供与することを目的としています。

●医療用医薬品



甲状腺ホルモン剤
チラーヂンS錠12.5μg・25μg・50μg・75μg・100μg



前立腺肥大症・癌治療剤
プロスタール錠25
徐放性前立腺肥大症治療剤
プロスタールL錠50mg



消化性潰瘍・胃炎治療剤
アルタットカプセル37.5mg・75mg、アルタット細粒20%



高脂血症治療剤
リピディル錠53.3mg・80mg



緊急避妊剤
ノルレボ錠0.75mg



経口避妊剤
アンジュ21錠・28錠



更年期障害治療剤
メノエイドコンビパッチ



前立腺癌治療剤
ビカルタミド錠80mg「あすか」



高血圧症・狭心症治療薬 持続性Ca拮抗薬
アムロジピンOD錠2.5mg、5mg「あすか」

●動物用医薬品および飼料添加物



注射用血清性性腺刺激ホルモン
動物用セロトロピン



犬慢性心不全用持続性ACE阻害剤
リズミナール錠
1mg・2.5mg・5mg



豚・鶏呼吸器疾患治療剤
アイブロシンプラス-10・50



飼料添加物
L-バリン・L-アルギニン

会社概要（2013年9月30日 現在）

会社の概要

社名	あすか製薬株式会社
設立	1929年6月28日 （創立1920年6月16日）
資本金	11億9,790万円
主な事業内容	医薬品、動物用医薬品、医薬部外品、食品および医療機器等の製造・販売ならびに輸出入
主な事業所	
本社	東京都港区芝浦二丁目5番1号
事業所	川崎事業所（神奈川県川崎市） 西東京事業所（東京都羽村市）
工場	いわき工場（福島県いわき市）
支店	札幌支店、東北支店、東京支店、千葉・埼玉支店、北関東・甲信越支店、名古屋支店、京都支店、大阪支店、中国・四国支店、福岡支店
従業員数	856名 （子会社への出向者22名は含めておりません）

子会社

会社名	資本金	当社の議決権比率	主要な事業内容
	百万円	%	
㈱あすか製薬メディカル	200	100	臨床検査・試験業務・医療機器販売業務等の受託 医薬品原材料等の販売 健康食品等の販売 清掃・警備等の受託、保険代理店
あすかActavis製薬㈱	345	55	医薬品の開発、販売ならびに輸出入
あすかアニマルヘルス㈱	100	100	動物用医薬品、飼料および飼料添加物などの製造、販売ならびに輸出入

役員（2013年10月1日現在）

役員	代表取締役社長	山口　隆
	取締役副社長	山口雅夫
	専務取締役	金澤　一
	取締役常務執行役員 （管理本部長）	丸尾篤嗣
	取締役 （社外取締役）	上田栄治
	取締役 （社外取締役）	吉村泰典
	常勤監査役	小泉直之
	常勤監査役	大竹　充
	監査役 （社外監査役）	武田裕二
	監査役 （社外監査役）	杉尾　健
執行役員	常務執行役員 （特命事項担当）	角張信隆
	常務執行役員 （医薬営業本部長）	松葉昌行
	執行役員 （アニマルヘルス事業本部長）	應矢誠司
	執行役員 （医薬営業本部副本部長）	秋山　明
	執行役員 （医薬事業本部長）	村上　誠
	執行役員 （信頼性保証・EBM推進担当）	川原真幸
	執行役員 （研究開発本部長 川崎事業所・西東京事業所担当）	蓮見幸市
	執行役員 （特命事項担当・ ㈱あすか製薬メディカル代表取締役社長）	齋藤守信
	執行役員 （生産本部長）	木村孝一
	執行役員 （あすかジェネリック事業本部長）	米澤俊夫

株式の概況（2013年9月30日 現在）

株式の状況

■発行済株式の総数　30,563,199株

■株　　主　　数　3,749名

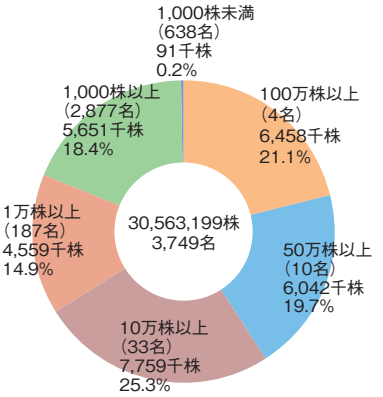
大株主の状況（上位10位）

株主名	所有株数(千株)	持株比率(%)
武田薬品工業株式会社	2,204	7.7
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,100	3.8
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,048	3.6
山口　隆	914	3.2
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	743	2.6
あすか製薬従業員持株会	695	2.4
株式会社ヤマグチ	556	1.9
日本生命保険相互会社	550	1.9
株式会社ヘルスケア・キャピタル	542	1.9
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	530	1.8

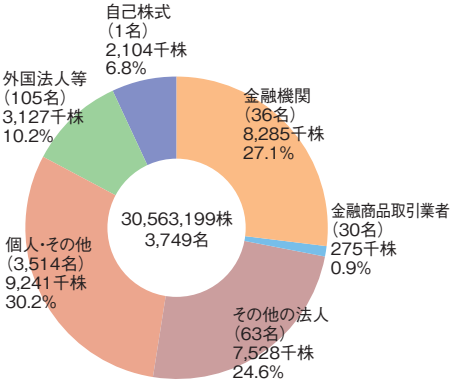
(注) 1. 当社は、自己株式を2,104,761株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株式の分布

■所有株数別



■所有者別



◆ 単元株式数の変更について

2014年1月6日（月）をもって、単元株式数を1,000株から100株に変更いたします。



当社は、投資家の皆様にとって投資しやすい環境を整備し、当社株式の流動性の向上および投資家層の拡大を図るため、単元株式数を引き下げることといたしました。

＊2014年1月6日（月）をもって、東京証券取引所における当社株式の売買単位を1,000株から100株に変更いたします。

＊本変更に伴い株主様が行う手続き等は特段ございません。

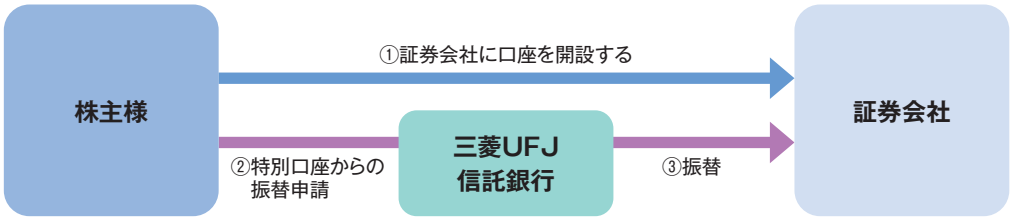
＊これまで100株から999株ご所有の株主様にも、株主総会の議決権が付与されます。

◆ 特別口座から証券会社の口座への振替申請について

「＊特別口座」に記録されている株式は、「特別口座」に預けられたままでは、株式売買に制約があります。さまざまなお手続きを円滑に行うためにも、証券会社の口座への振替申請をお勧めします。お手続きの詳細は、裏表紙記載のお問い合わせ先にご確認ください。

＊特別口座　株券電子化前に証券保管振替機構（ほふり）に株券を預託していなかった株主様の権利を保全するために、三菱UFJ信託銀行に開設した口座です。

〔口座振替申請の方法〕



●株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL　http://www.aska-pharma.co.jp/invest/index.html （ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。）

株主の皆様の声をお聞かせください

下記ＵＲＬにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、
アンケートを実施いたします。
お手数ではございますが、
アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

http://www.e-kabunushi.com
アクセスコード 4514
いいかぶ　検索

空メールによりURL自動返信
kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。（タイトル、本文は無記入）アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

携帯電話からもアクセスできます
ＱＲコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のＱＲコードからもアクセスできます。

e-株主リサーチ

※本アンケートは、株式会社 a2media（エー・ツー・メディア）の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
（株式会社 a2mediaについての詳細　http://www.a2media.co.jp）
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただき、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」
TEL:03-5777-3900（平日 10:00～17:30）
MAIL:info@e-kabunushi.com

●株式に関するお手続きについて

お手続き、ご照会等の内容	証券会社等に口座をお持ちの場合	特別口座*の場合
・単元未満株式の買増・買取請求 ・届出住所・姓名などのご変更 ・配当金の受領方法・振込先のご変更	お取引の証券会社等にお問い合わせください。	三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。
・郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ・支払期間経過後の配当金に関するご照会 ・株式事務に関する一般的なお問い合わせ ・特別口座に関するお問い合わせ	三菱UFJ信託銀行株式会社　証券代行部 〒137-8081　東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL. 0120（232）711（通話料無料） http://www.tr.mufg.jp/daikou/	

特別口座*　株券電子化前に証券保管振替機構（ほふり）に預託していなかった株券の株主様の権利を保全するために、三菱UFJ信託銀行に開設した口座です。

あすか製薬株式会社
本　社　〒108-8532　東京都港区芝浦二丁目5番1号
TEL.03（5484）8361㈹　FAX.03（5484）8351
http://www.aska-pharma.co.jp/

FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C013080
VEGETABLE OIL INK